

令和7年度「日本遺産(Japan Heritage)」認定内容の変更

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリー名 (認定年度)	変更事由	変更箇所	変更理由
12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～ (平成27年度)	構成文化財	【追加】 番号⑨県指定名勝 正善院庭園 番号⑩国指定名勝 小鹿溪 番号㉑県指定名勝 依山楼岩崎庭園 番号㉒未指定 栃餅 【位置づけ変更】 番号㉑「南苑寺」 「六感治癒」の「観」「心」にあたる三朝温泉の寺院。三朝温泉街の高台に配された本堂での座禅は、心を徐々に清らかにするとともに、竜宮城を思わせるユニークな伽藍景観を形成する山門や、見る角度によりその表情を変える鬼瓦は、参拝者の目を楽しませる。 →「六感治癒」の「観」にあたる三朝温泉の寺院。竜宮城を思わせるユニークな伽藍景観を形成する山門や、見る角度によりその表情を変える鬼瓦は、参拝者の目を楽しませる。	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。 【位置づけ変更】 ・災害による建物の損壊により、登録有形文化財の登録が一部抹消になったことに伴い、記載内容を一部削除するため。
17	長崎県	◎長崎県 (対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町)	国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～	ストーリー	①日本は大小 6,852 の島から成り、長崎県には日本最多の971の島がある。 →日本は大小14,125 の島から成り、長崎県には日本最多の1,479 の島がある。 ②空海の「辞本涯」 →弘法大師空海の「辞本涯」 ③壱岐の特産品「壱岐焼酎」は、大陸から伝わったとされる蒸留法を取り入れ、今では世界に誇れる産地ブランドとなっており、対馬の「対州そば」は大陸から伝わったそばの原種に近い。 →壱岐の特産品「壱岐焼酎」は、大陸から伝わったとされる蒸留法を取り入れ、今では世界に誇れる産地ブランドとなっており、五島の特産品である「五島うどん」は遣唐使が伝えたといわれる。対馬の「対州そば」は大陸から伝わったそばの原種に近く、また、対馬から朝鮮半島にサツマイモが伝わったことから、韓国語のコグマ(サツマイモ)は、対馬の「孝行芋」が語源となっている。これらの食文化の中に大陸との交流をみることができる。	【ストーリー】 ・国土地理院発表の島の数に合わせるため。 ・構成文化財の位置づけ変更に伴い、記載内容を一部修正するため。 ・構成文化財の追加に伴い、記載内容を一部修正するため。
				構成文化財	【追加】 《対馬市》 番号④孝行芋 《新上五島町》 番号④五島うどん 【名称変更】 《新上五島町》 番号③最澄ゆかりの山王信仰(山王山、青方神社) →伝教大師最澄ゆかりの山王信仰(山王山、雄嶽日枝神社の報賽鏡、青方神社) 【指定等の状況変更】 《新上五島町》 番号③伝教大師最澄ゆかりの山王信仰(山王山、雄嶽日枝神社の報賽鏡、青方神社) 未指定→未指定(山王山は西海国立公園、雄嶽日枝神社の報賽鏡は町指定) 【位置づけ変更】 《五島市》 番号②明星院本堂 五島で最も古い寺といわれ、空海が唐から帰朝する途中でこの寺に籠り、明星院と名付けたといわれている。 →五島で最も古い寺といわれ、弘法大師空海が唐から帰朝する途中でこの寺に籠り、明星院と名付けたといわれている。 番号④大宝寺 唐から帰国した空海がここで真言密教を説いたという伝承があることから「西の高野山」ともいわれている。 →唐から帰国した弘法大師空海がここで真言密教を説いたという伝承があることから「西の高野山」ともいわれている。 《新上五島町》 番号③伝教大師最澄ゆかりの山王信仰(山王山、雄嶽日枝神社の報賽鏡、青方神社) 山王山は最澄が遣唐使の航海安全を祈願し、無事帰国後、山王神を勧進し開いたといわれ、中腹にある二ノ宮の岩窟内には中世以降、鏡が奉納され、その中には宋代の舶載鏡があり、大陸との交流の足跡がみられる。青方神社は古名を山王宮と称し、山王山の遥拝所であったといわれている。 →山王山は伝教大師最澄が遣唐使の航海安全を祈願し、無事帰国後、山王神を勧進し開いたといわれる。中腹にある二ノ宮の岩窟内には鎌倉時代から江戸時代にかけて作成された鏡(報賽鏡)が奉納され、その中には宋代と元～明代の舶載鏡二面が含まれることから、山王信仰が中世・近世を通じて断続的に行われてきたことや、大陸との交流の足跡をみることができる。青方神社は古名を山王宮と称し、山王山の遥拝所であったといわれている。	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。 【名称変更】、【指定等の状況変更】、【位置づけ変更】 ・法名だけでなく、諡号を付記するのがふさわしいため、また、ストーリーの内容を充実させるため。
21	福島県	会津 17 市町村(◎会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・檜枝岐村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村)	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して見た往時の会津の文化～	構成文化財	【名称変更】 番号⑩新宮熊野神社の文殊堂・木造文殊菩薩騎獅像(もくどうもんじゅぼさつきしどう) →新宮熊野神社の文殊堂・木造文殊菩薩騎獅像(もくどうもんじゅぼさつきしどう) 番号⑪如法寺・銅像聖観音坐像(どうどうしょうかんのんざそう) →如法寺・木造聖観音坐像(もくどうしょうかんのんざそう) 【位置づけ変更】 番号⑩新宮熊野神社の文殊堂・木造文殊菩薩騎獅像 今も会津に残る仏像の一つ。新宮熊野神社の文殊堂本尊であり、知恵・学問の仏様として地域の人々の信仰を集めてきた。文殊堂は、会津熊野と称されていた新宮熊野神社境内にあり、磐梯(いわはし)神社を習合していた慧日寺をはじめ、古来より根付いていた神仏習合の信仰、熊野信仰を伝える遺品として貴重である。 →今も会津に残る仏像の一つ。新宮熊野神社の文殊堂本尊であり、知恵・学問の仏様として地域の人々の信仰を集めてきた。文殊堂は、会津熊野と称されていた新宮熊野神社境内にあり、磐梯(いわはし)神社を習合していた慧日寺をはじめ、古来より根付いていた神仏習合の信仰、熊野信仰を伝える遺品として貴重である。	【名称変更】 ・誤記及び表記修正のため。 【位置づけ変更】 ・誤記修正のため。

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリー名 (認定年度)	変更事由	変更箇所	変更理由
23	千葉県	◎千葉県(佐倉市、成田市、香取市、銚子市)	「北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み」 ー佐倉・成田・佐原・銚子:百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群ー	ストーリー	2 百万都市を支え、江戸とのかかわりで発展した都市群 利根川東遷によりその河口となった銚子は、天然の漁場を臨む好地にあり、江戸の人々に魚を供給する漁港として発展した。魚の江戸への運搬は、利根川と「鮮魚(なま)街道」と呼ばれる街道により鮮度を失わないように迅速に行われた。銚子は、今なお我が国随一の漁港として、魚好き国民の食を支え続けている。また、銚子独特の地質景観の奇岩の「磯巡り」は、文人墨客も好んで題材とし、銚子は観光でも賑わった。利根川水運の発達は、銚子を漁港に留まらず、東国の米などの物資を江戸に送る流通や、江戸前料理を支えた濃口醤油の醸造でも繁盛させ、当時の人口は関東地方では江戸を除き水戸に次いで多かった。このように、北総の四都市は、水運と街道を通して、政治・学問(佐倉)、信仰・観光(成田)、商業・水運(佐原)、漁業・港湾(銚子)により、江戸を支える大きな役割を果たした。 →利根川東遷によりその河口となった銚子は、天然の漁場を臨む好地にあり、大量に水揚げされたイワシは干鰯・鰯粕に加工され、綿花栽培の肥料として江戸から各地に出回った。また、利根川と「鮮魚(なま)街道」によって魚を迅速に運び、江戸へ魚を供給する漁港として発展した。さらに銚子独特の自然景観を巡る「磯巡り」は文人墨客も好んで題材とし、銚子は観光でも賑わった。利根川水運の発達は、漁業、流通、江戸前料理を支えた濃口醤油の醸造などを繁盛させ、銚子は漁港・商港の複合的な港町として発展した。このように、北総の四都市は、水運と街道を通して、政治・学問(佐倉)、信仰・観光(成田)、商業・水運(佐原)、漁業・港湾(銚子)により、江戸を支える大きな役割を果たした。 3 世界から最も近い「江戸」:江戸情緒の残る代表的町並み群 銚子の漁港は、江戸時代初期に紀州から移住した崎山治郎衛門が築港した外川港から始まるが、漁港に面した斜面には基盤の目のような当時の区画が今も残されている。また、利根川河口付近には、江戸時代から銚子の観音様として参拝者が多かった円福寺や漁師の守り神とされる川口神社、廻船問屋の建物など、港町の隆盛を物語る資産が残っている。 →銚子の漁港は、江戸時代初期に紀州から移住した崎山治郎衛門が築港した外川港から始まるが、漁港に面した斜面には基盤の目のような当時の区画が今も残されている。また、利根川河口付近には、江戸時代から銚子の観音様として参拝者が多かった円福寺や川口神社、廻船問屋の建物など、港町の隆盛を物語る資産が残っている。	【ストーリー】 ・ストーリー内容の充実及び誤字修正のため。 ・川口神社の祭神である速秋津姫命は「水戸の神」であり、航海安全を司る性質はなく、漁師の守り神という表記は誤解を招きかねないことから、記載内容を一部削除するため。
				構成文化財	【名称変更】 番号2-1 成田山新勝寺(光明堂)(釈迦堂)(三重塔)(仁王門)(額堂)(木造不動明王及び二童子像)(薬師堂(鐘楼)(一切経堂)(清滝権現堂)(輪転経蔵) →成田山新勝寺(光明堂)(釈迦堂)(三重塔)(仁王門)(額堂)(木造不動明王及二童子像)(薬師堂(鐘楼))(一切経蔵)(清滝権現堂)(輪転経蔵) 番号4-7 銚子の磯巡り(①妙見様)(②飯沼観音)(③浄国寺)(④犬吠埼(いぬぼうさき)の白亜紀浅海堆積物)(⑤千騎ヶ岩)(⑥犬岩)(⑦屏風ヶ浦)(⑧紙本淡彩銚子名所絵図) →銚子の磯巡り(①妙見様)(②飯沼観音)(③浄国寺)(④犬吠埼(いぬぼうさき)の白亜紀浅海堆積物)(⑤千騎ヶ岩)(⑥犬岩)(⑦屏風ヶ浦)(⑧紙本淡彩銚子名所絵図) 【指定等の状況変更】 番号4-7銚子の磯巡り(①妙見様)(②飯沼観音)(③浄国寺)(④犬吠埼(いぬぼうさき)の白亜紀浅海堆積物)(⑤千騎ヶ岩)(⑥犬岩)(⑦屏風ヶ浦)(⑧紙本淡彩銚子名所絵図) 国名勝・天記1件 県天記1件 市有形→国天記1件 国名勝・天記1件 市有形 【位置づけ変更】 番号4-1銚子外川の町並み(大杉神社)(外川ミニ郷土資料館) 江戸の人口増加は、より多くの鮮魚の供給を必要とした。江戸前の海だけでなく、銚子沖の漁場からの鮮魚の供給は不可欠なものとなった。 紀州から移住した崎山治郎右衛門(さきやまじろうえもん)が波止場の築港工を行い、基盤目状のまちづくりをして、外川港の繁栄の基礎を築き、支えた。 「外川千軒大繁盛」という言葉のとおり外川港は活気に満ち溢れて、江戸からの増加する鮮魚の需要に応えていた。 →紀州から移住した崎山治郎右衛門(さきやまじろうえもん)が波止場の築港工を行い、基盤目状のまちづくりをして、外川港の繁栄の基礎を築き、支えた。 「外川千軒大繁盛」という言葉のとおり外川港は活気に満ち溢れて、漁業で賑わったかつての様相を今に伝えてくれる。 番号4-2銚子縮(銚子ちぢみ伝統工芸館) 漁業の町銚子。「底板一枚下は地獄」といわれるほど厳しい漁に出かける漁師の家を守る女性が出漁の安泰と豊漁を祈り、木綿の織物を生産した。各家で織った銚子縮は集荷され、高瀬船に積まれて利根川を遡り、江戸の花街などに回り、江戸の粋を表す織物としてもてはやされ、全国にその名が知られた。 地元の網本や船頭はこの銚子縮を使った万祝を着用していた。 →漁業の町銚子。「底板一枚下は地獄」といわれるほど厳しい漁に出かける漁師の家を守る女性の木綿の織物を生産した。各家で織った銚子縮は集荷され、高瀬船に積まれて利根川を遡り、江戸の花街などに回り、江戸の粋を表す織物としてもてはやされ、全国にその名が知られた。地元の網元は大漁のお祝いには銚子縮を使った万祝をふるまっていた。 番号4-3銚子大領節(川口神社)(万祝)(萬祝式大領旗)(小澤染工場) 銚子の漁業を象徴する民謡。元治元年(1864)、長引く不漁から未曾有の豊漁となり、漁師たちが感謝の意を表すために唄を作り、漁船の守り神である川口神社に奉納した。 →銚子の漁業を象徴する民謡。元治元年(1864)、長引く不漁から未曾有の豊漁となり、漁師たちが感謝の意を表すために唄を作り、川口神社に奉納した。 番号4-4旧西廣家住宅(・主屋・缶詰工場・倉庫(北倉・南倉)・煉瓦堀 当時、銚子沖であがった鰹は「鰹の生腐れ」といわれるように足の速い魚であった。西廣家では鰹節生産を開始し、鮮魚だけでなく、加工品でも江戸の食文化を支えた。また、豊漁の鰯は、綿花栽培の肥料として重要な鰯粕や干鰯の生産を支えた。 →当時、銚子沖であがった鰹は「鰹の生腐れ」といわれるように足の速い魚であった。西廣家では鰹節や、豊漁の鰯で綿花栽培の肥料として重要な鰯粕や干鰯の生産をするなど銚子の水産業の歴史を伝えてくれる。 番号4-7銚子の磯巡り(①妙見様)(②飯沼観音)(③浄国寺)(④犬吠埼の白亜紀浅海堆積物)(⑤千騎ヶ岩)(⑥犬岩)(⑦屏風ヶ浦)(⑧紙本淡彩銚子名所絵図) 「銚子の磯巡り」は、妙見宮や飯沼観音(銚子の観音様)として知ら円福寺などの寺社や「葦鹿嶋」「犬吠ヶ崎」「仙ヶ岩屋」など激しい波浪により生み出された奇岩からなる自然景観などをめぐる旅。 →「銚子の磯巡り」は、妙見宮や飯沼観音(銚子の観音様)として知られる円福寺などの寺社や「葦鹿嶋」「犬吠ヶ崎」「仙ヶ岩屋」など激しい波浪により生み出された奇岩からなる自然景観などをめぐる旅。 番号4-8漁業の信仰関連資料・川口神社・和田不動・漕出・大潮まつり・奉納絵馬・千人塚 川口神社は漁船の守り神であり、一年の最初の出漁時には、豊漁と安全を祈り、大潮の日には神輿を担ぎ市内を練り歩く。 →川口神社では一年の最初の出漁時に、豊漁と安全を祈り、大潮の日には神輿を担ぎ市内を練り歩く。	【名称変更】 ・物件名変更のため。 【指定等の状況変更】 ・国指定天然記念物の情報を追記するため。 【位置づけ変更】 ・正確な内容とするため、また、ストーリー内容を修正するため。
28	長野県 岐阜県	長野県(◎ 南木曽町南木曽町・大桑村・上松町・木曽町・木祖村・王滝村・塩尻市)岐阜県(中津川市)	木曽路はすべて山の中 ～ 山を守り山に生きる ～	構成文化財	【追加】 番号⑬五平餅(御幣餅) 【名称変更】 番号⑬福島関所跡→福島関跡 番号⑭県宝山道家→山道家住宅 番号⑯らっぽしよ祭り→らっぽしよ 【指定等の状況変更】 番号⑦木曽踊りと木曽節 町指定無形→木曽町指定無形 【位置づけ変更】 番号⑬福島関跡 日本三大馬市が開かれていた木曽福島にある関所。木曽馬はこの地で売り買いされていた。 →中山道の要衝として「入鉄砲・出女」を厳しく取り締まった「福島関所」の跡。山と川に守られたその様相は「山河の国め」と詠われた。 番号⑭山道家住宅 木曽馬馬主で知られる山道家は、馬主で沢山の馬を所有していて農家に貸し与えていた。農家は、仔馬を育てることでも収入を得ていた。 →木曽馬の大馬主として繁栄した山道家は、多い時で 300 頭余りを所有し、近隣の農家に貸し付けて馬産に力を注いだ。 番号⑯らっぽしよ 本来は山吹山麓の德音寺集落の子供たちのお盆行事で、木曽馬に乗った木曽義仲の武者も町を練り歩く。 →古くからお盆に行われている伝統行事。山吹山の山頂で火が焚かれ、松明を掲げた行列が木曽義仲の墓所へ参詣する。 番号⑦木曽踊りと木曽節 全国に知られる木曽踊りは、木曽義仲の供養のために行われるが、木曽節は「おんたけ節」に筏師の労働歌「なかのりさん節」などを取り入れたもの。 →木曽谷一帯で培われてきた代表的な踊りと民謡。ゆったりとした簡素な動作と、高旋律の節回して歌う「木曽のナアナカのりさん」や「ナンチャラホイ」などの歌詞が特徴で、山深い土地に見いだされた各地の景勝地や名物のほか、伐り出された木材が川によって運ばれていく情景を彷彿とさせる。 【文化財の所在地変更】 番号⑦木曽踊りと木曽節 木曽町→塩尻市、木祖村、王滝村、木曽町、上松町、大桑村、南木曽町、中津川市	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。 【名称変更】 ・文化財としての名称に変更するため。 【位置づけ変更】 ・正確な表現で、よりわかりやすい内容とするため。 【文化財の所在地変更】 ・木曽地域全域で根付いているものであるため。

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリー名 (認定年度)	変更事由	変更箇所	変更理由
39	北海道、青森県、秋田県、山形県、新潟県、富山県、石川県、福井県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、香川県	山形県(酒田市・鶴岡市)、北海道(函館市・松前町・小樽市・石狩市)、青森県(鯉ヶ沢町・深浦町・野辺地町)、秋田県(秋田市・にかほ市・男鹿市・能代市・由利本荘市)、新潟県(◎新潟市・長岡市・佐渡市・上越市・出雲崎町・村上市)、富山県(富山市・高岡市)、石川県(加賀市・輪島市・小松市・金沢市・白山市・志賀町)、福井県(敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市・美浜町)、京都府(宮津市)、大阪府(大阪市・泉佐野市)、兵庫県(神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市)、鳥取県(鳥取市)、島根県(浜田市)、岡山県(倉敷市・備前市・岡山市)、広島県(尾道市・呉市・竹原市)、香川県(多度津町)	荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間 ～北前船寄港地・船主集落～	構成文化財	【追加】 番号15-⑨-1 沖の島方角石 番号15-⑨-2 丁刃森方角石 番号15-⑨-3 恵比寿森方角石 番号15-⑨-4 三王森方角石 番号19-⑨ 佐渡市宿根木伝統的建造物群保存地区 番号19-⑩ 佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区 番号37-⑦ 旧大浜埧通航潮流信号所施設 番号39-⑥ 春日神社の船絵馬群と狛犬 番号39-⑦ 郷土資料館所蔵の北前船関連資料群 番号39-⑧ 龍宮寺の本堂と水舟 番号39-⑨ 少林寺の山門 番号39-⑩ 加茂坂峠道 番号39-⑪ 雛人形・雛菓子 番号48-⑭ 旧里井家邸宅(北庄司邸別邸) 番号48-⑮ 里井家文書群 番号52-⑦ コチめし 番号52-⑫ 吉井川沿岸常夜燈群 番号52-⑫-1 旧九幡港常夜燈 番号52-⑫-2 九幡常夜燈 番号52-⑫-3 十番常夜燈 番号52-⑫-4 金岡湊常夜燈 番号52-⑫-5 西大寺常夜燈 番号52-⑫-6 牛玉所殿常夜燈 番号52-⑫-7 乙子常夜燈 番号52-⑫-8 河本町常夜燈 【名称変更】 番号10-① 鰯蔵→旧鰯蔵 番号10-⑤ 昆布の手すき加工技術→敦賀のおぼろ昆布製造技術 番号39-③ 浄禅寺の釣鐘→浄禅寺の釣鐘と山門 番号39-④ 善寶寺五百羅漢堂→善寶寺五百羅漢堂と燈籠群 番号52-⑧ 弁財船 模型(べんざいせん もけい)→弁財船 模型(べざいせん もけい) 【指定等の状況変更】 番号10-③ 旧大和田銀行本店社屋 未指定(建造物)→国登録(建造物) 番号10-⑤ 敦賀のおぼろ昆布製造技術 未指定(無形文化財)→国登録(無形民俗文化財) 番号10-⑫ 今村公龍筆「松に烏紅葉図屏風」 未(美作品・絵画)→未(美術工芸品) 番号15-⑨ にかほ市内の方角石 市指定史跡→県指定史跡(4基中2基)、市指定史跡(4基中1基) 番号19-① 清九郎家 重伝建→未指定(重伝建地区) 番号19-② 三角家 重伝建→未指定(重伝建地区) 番号39-③ 浄禅寺の釣鐘と山門 未指定(工芸品)→未指定(工芸品)(建造物) 番号39-④ 善寶寺五百羅漢堂と燈籠群 国登録有形(建造物)→国登録有形(建造物)、未指定(工芸品) 【位置づけ変更】 番号10-⑤敦賀のおぼろ昆布製造技術 北前船で運ばれた昆布の加工技術 →北前船で運ばれた昆布を職人が手作業で帯状に薄く削る「おぼろ昆布」の製造技術。 番号39-③浄禅寺の釣鐘と山門 北前船で財をなした商人たちから寄進された釣鐘。坂越(現在の赤穂市)から北前船で選ばれたもの。 →北前船で財をなした商人たちから寄進された釣鐘と総ケヤキ造りの山門。 番号39-④善寶寺五百羅漢堂と燈籠群 北前船で財をなした商人たちの寄進によって建てられたお堂。安置されている531体の仏像も同じく寄進により作られた。 →北前船で財をなした商人たちの寄進によって建てられた五百羅漢堂と 531 体の仏像と、松前(北海道)や越後(新潟県)、山形県内陸部など全国の商人たちの名が刻まれた燈籠群。	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。 【名称変更】 ・文化財名称に変更するため。 【指定等の状況変更】 ・文化財の指定状況に変更が生じたため。 【位置づけ変更】 ・文化財の指定状況に変更が生じたため、また、ストーリーの内容を充実させるため。
53	熊本県	◎玉名市、山鹿市、菊池市、和水町	米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～	構成文化財	【名称変更】 番号⑬菊之城跡、赤星舟着場→北宮館跡、赤星舟着場 【指定等の状況変更】 番号⑬北宮館跡、赤星舟着場 市指定(史跡)ほか→国指定(史跡)ほか 【位置づけ変更】 番号④菊池川流域の装飾古墳群 米作りの富により繁栄した装飾古墳群。チブサン古墳をはじめ流域の装飾古墳は 117基を数え、国内一の密度を誇る。→米作りの富により繁栄した装飾古墳群。チブサン古墳をはじめ流域の装飾古墳は131基を数え、国内一の密度を誇る。 番号⑬菊之城跡、赤星舟着場 中世に安定した当地を行い米作りの発展に寄与した菊池氏の初代則隆が、延久2(1070)年に菊池川のほとりに構えた居館跡と船着場跡。→中世に安定した統治を行い米作りの発展に寄与した菊池氏の初代則隆が、延久2(1070)年に菊池川のほとりに構えた居館跡と船着場跡。 番号⑭菊池川の中世河口港関連遺跡群 中世に安定した当地を行い、米作りの発展に寄与した菊池一族は、右岸の高瀬と左岸の伊倉を整備し、海外貿易の拠点とした。→中世に安定した統治を行い米作りの発展に寄与した菊池一族は、右岸の高瀬と左岸の伊倉を整備し、海外貿易の拠点とした。 番号⑮菊池の松囃子 中世に安定した当地を行い米作りの発展に寄与した菊池氏が、懐良親王(かねながしんのう)を迎え年頭の祝儀として行ったことを起源とする芸能。→中世に安定した統治を行い米作りの発展に寄与した菊池氏が、懐良親王(かねながしんのう)を迎え年頭の祝儀として行ったことを起源とする芸能。 【所在地の地図の位置変更】 番号⑯正観寺・菊池五山 番号㉞玉祥寺このみや踊り	【名称変更】、【指定等の状況変更】 ・指定状況の変更に伴い、名称を変更したため。 【位置づけ変更】 ・調査研究により、古墳数が整理されたため。 ・誤記修正のため。 【所在地の地図の位置変更】 ・位置誤り修正のため。

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリー名 (認定年度)	変更事由	変更箇所	変更理由
62	静岡県 神奈川県	静岡県(◎三島市 函南町)、神奈川県(小田原市、箱根町)	旅人たちの足跡残る悠久の石畳道 一箱根八里 で辿る遥かな江戸の旅路	ストーリー	【ふりがなの削除】 参勤交代、商館長、朝鮮通信使、随一、箱根神社、繫、冷涼、湿润、頑丈、威圧、下田、箱根八里 【構成文化財の名称変更】 番号⑩寄木細工→箱根寄木細工 【写真の差し替え】 甘酒茶屋、山中城跡、三嶋大社、箱根寄木細工	【ふりがなの削除】 ・誤記修正のため。 【構成文化財の名称変更】 ・文化財名称に統一するため。 【写真の差し替え】 ・改修前の写真だったため。
				構成文化財	【名称変更】 番号④明治天皇宮ノ前行在所跡(清水金左工門本陣)→清水金左衛門本陣(明治天皇宮ノ前行在所跡) 番号⑤明治天皇本町行在所跡(片岡本陣)→片岡本陣(明治天皇本町行在所跡) 番号⑩寄木細工→箱根寄木細工 【位置づけ変更】 番号⑤片岡本陣(明治天皇本町行在所跡) 清水金左工門本陣とともに、明治天皇が宿泊した行在所として市の史跡となっている。 →清水金左衛門 番号⑩箱根寄木細工 異なる色の天然木を組み合わせて模様を作る寄木細工は、江戸時代から畑宿で盛んに作られるようになり、旅人の土産物として全国的に知れ渡った。 →異なる色の天然木を組み合わせて模様を作る箱根寄木細工は、江戸時代から畑宿で盛んに作られるようになり、旅人の土産物として全国的に知れ渡った。 番号⑩甘酒茶屋 江戸時代から続く街道沿いの茶店。囲炉裏の残る茅葺の建物で、現在でも旅行者が休憩するための施設として人気が高い。 →江戸時代から続く街道沿いの茶店。囲炉裏の残る茅葺の建物で甘酒が名物。現在でも旅行者が休憩するための施設として人気が高い。 番号⑫山中城跡 石垣を作らない土盛りによる城で、地上に巨大なワッフルを置いたかのような障子堀が特徴。道をはさんで城が築かれ、関所の役割も担っていた。 →小田原防衛のため後北条氏により築城され、天正 18 年(1590)に豊臣秀吉の小田原攻めにより落城した。堀底をワッフルのように堀り残した「障子堀」が特長。街道を挟んで城が築かれ、関所の役割も担っていた。 番号⑬富士見平の眺望 江戸時代から知られた富士山の眼望地点。旅日記や絵画などに描かれ、現在も江戸時代さながらの風景を楽しむことができる。 →東海道を通行する旅人に広く知られた富士山の眺望地で、旅日記や絵画などに描かれた。現在も江戸時代さながらの風景を楽しむことができる。付近には、箱根越えの時に詠んだとされる松尾芭蕉の句碑がある。 番号⑮普門庵の仏像 伊豆半島最大の観音菩薩坐像と脇侍として不動明王、毘沙門天立像を祀る。江戸時代に観音菩薩坐像を背負った旅の僧がこの地で一歩も動けなくなり、菩薩の意志と判断して庵を結んでび像を祀ったという伝承がある。 →伊豆半島最大の観音菩薩坐像と脇侍として不動明王、毘沙門天立像を祀る。江戸時代に観音菩薩坐像を背負った旅の僧がこの地で一歩も動けなくなり、菩薩のお告げと判断して庵を結び像を祀ったという伝承がある。 番号⑰三嶋厓と三嶋厓師の館 仮名文字で印刷された日本最古の厓と云われ、東日本で採用されていた。文字の美しさ、線の繊細さに定評があり、嵩張らないため、東海道の旅人にはお土産としても重宝された。厓師の館は三嶋厓の製造・販売を代々行っていた河合家の旧邸宅であり、現在の建物は、江戸時代末期に裾野の関所の建物を移築したもの。 →仮名文字で印刷された日本最古の厓とされる。文字の美しさ、線の繊細さに定評があり、嵩張らないため、東海道の旅人にはお土産としても重宝された。厓師の館は三嶋厓の製造・販売を代々行っていた河合家の旧邸宅であり、現在の建物は、江戸時代末期に裾野の関所の建物を移築したもの。 番号⑲三嶋大社 古くから武士の崇敬を集めた三嶋大社は三島宿の中心でありシンボルの存在。 →伊豆の国一宮として、源頼朝をはじめとした武家の崇敬を集めた。本殿・幣殿・拝殿は国の重要文化財。宝物館には国重文に指定された収蔵品が展示されている。 番号㉑鰻料理 三嶋大社の神の使いとして三島宿の人々は鰻を保護したが、神罰が下らないと知った江戸時代末期から食べられ始め、今では三島を代表する名物料理になった。 →三島宿の人々は鰻を三嶋大社の神の使いとして保護。幕末に薩摩の兵が食しても神罰が下らなかったことから、三島でも食べられるようになったという。三島の鰻は富士の湧水と職人の技により名物として知られる。	【名称変更】 ・誤字修正及び正式名称への変更のため。 【位置づけ変更】 ・誤字修正のため。
68	北海道	北海道小樽市、室蘭市、夕張市、岩見沢市、◎美瑛市、虻川市、江別市、赤平市、三笠市、歌志内市、栗山町、月形町、沼田町、安平町	本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～	申請者	【追加】 北海道歌志内市	【追加】 ・構成文化財を追加するため。
				構成文化財	【追加】 番号㉔旧上歌会館(悲別ロマン座)	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。
69	宮城県	岩手県(平泉町・陸前高田市・大船渡市)、◎宮城県(気仙沼市・南三陸町・◎涌谷町・石巻市)	みちのくGOLD浪漫 ―黄金の国ジバング、産金はじまりの地をたどる―	申請者	【追加】 岩手県大船渡市	【追加】 ・構成文化財を追加するため。
				構成文化財	【追加】 番号1－4 今出山 番号1－5 碁石海岸 番号4－11 旧吉田家住宅主屋 番号5－7 今出山金山跡 番号6－13 大なる入り江サン・アンドレスー大船渡湾の風景― 【指定等の状況変更】 ・6－1 篁峯寺 観音堂・白山社・仁王門:町指定(建造物)→観音堂・県指定白山社・仁王門:町指定(建造物) 【写真の追加】 ・6－12 金華山道	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。 【指定等の状況変更】 ・文化財の指定状況に変更が生じたため。 【写真の追加】 ・金華山道の構成資源を充実させるため。
81	徳島県	徳島市、吉野川市、阿波市、美馬市、石井町、北島町、◎藍住町、板野町、上板町	藍のふるさと 阿波 ～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～	構成文化財	【追加】 ・37 旧富本家住宅および旧山瀬郵便局 ・38 犬伏家住宅	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため

No	道府県	申請者 (◎は代表自治体)	ストーリー名 (認定年度)	変更事由	変更箇所	変更理由
86	茨城県 山梨県	◎茨城県牛久市 山梨県甲州市	日本ワイン140年史 ～国産ブドウで 醸造する和文化の結晶～	構成文化財	【追加】 番号③③旧飯島家住宅 番号③④旧飯島家住宅所蔵牛久シャトー関連資料 番号③⑤旧岡田小学校女化分校校舎 【名称変更】 番号①④シャトーカミヤ旧醸造場施設3棟(旧事務室・旧醗酵室・旧貯蔵庫) →シャトーカミヤ旧醸造場施設3棟(事務室・醗酵室・貯蔵庫) 【指定等の状況変更】 番号①⑥ シャトーカミヤ旧醸造場施設醸造用具 未指定(有形民俗文化財)→未指定(有形民俗) 番号②① メルシャンワイン資料館収蔵品 未指定(有形民俗文化財)→未指定(有形民俗) 番号②② 勝沼のぶどう栽培用具及び葡萄酒醸造用具 登録有形民俗文化財(有形民俗文化財)→国登録有形(有形民俗) 番号②⑤ 大善寺のワイン文化 未指定(無形民俗文化財)→未指定(無形民俗) 番号②⑥ 祝橋 登録有形(建造物)→国登録有形(建造物) 番号②⑧ 馬の水飲み場 未指定(有形民俗文化財)→未指定(有形民俗) 番号②⑨ 旧田中銀行社屋 旧田中銀行土蔵 登録有形(建造物)→国登録有形(建造物) 【位置づけ変更】 番号①④シャトーカミヤ旧醸造場施設3棟(事務室・醗酵室・貯蔵庫) 明治 36(1903)年に神谷傳兵衛が建設した日本初の本格的ワイン醸造場(牛久シャトー)。ヨー ロッパの古城を思わせる旧事務室など、明治時代の洋風ワイナリーの世界を体験することができ ます。 →明治 36(1903)年に神谷傳兵衛が建設した日本初の本格的ワイン醸造場(牛久シャトー)。ヨー ロッパの古城を思わせる事務室など、明治時代の洋風ワイナリーの世界を体験することができま す。	【追加】 ・調査研究により、ストーリーの内容を補完する新たな資料が発見されため。
98	奈良県 大阪府	◎奈良県三郷町、大阪府柏原市	もう、すべらせない！！ ～龍田古 道の心臓部「亀の瀬」を越えてゆけ ～	構成文化財	【追加】 番号①②史跡高井田横穴公園 番号①⑥渡御祭	【追加】 ・ストーリーの内容を充実させるため。